



秋保グランドホテル

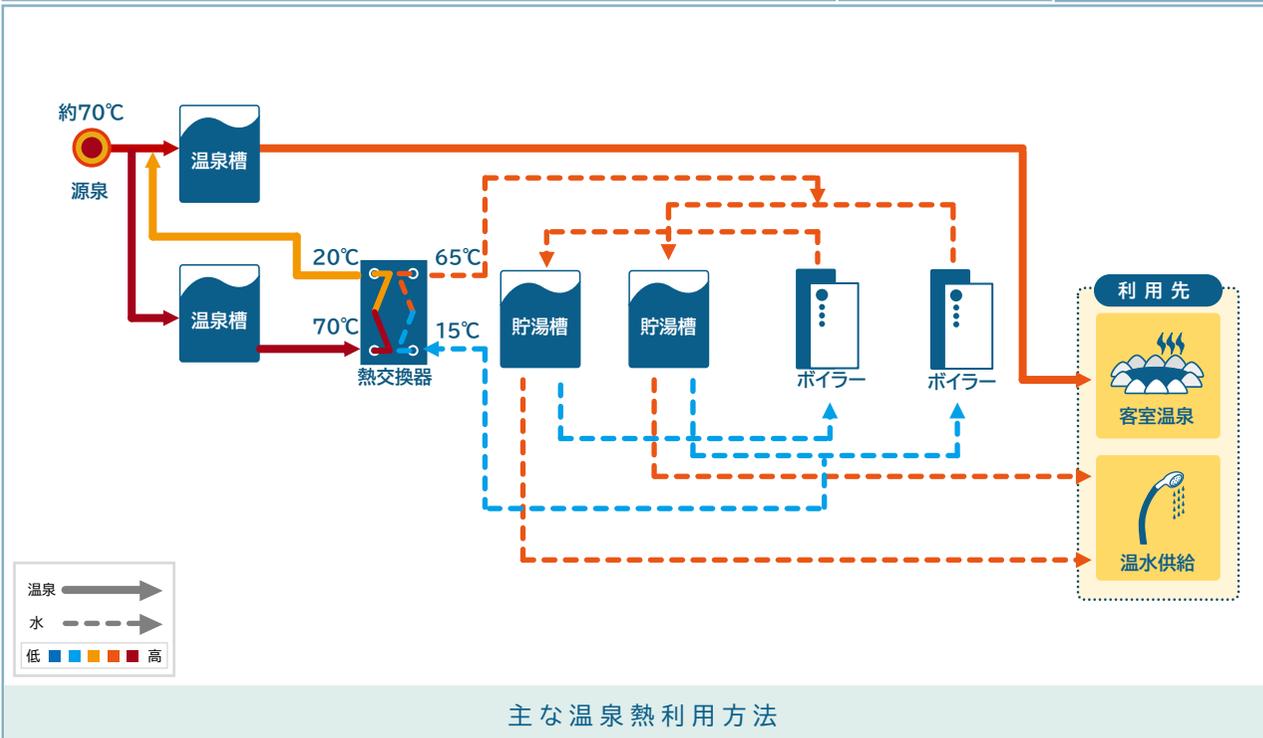


概要

重油を用いボイラーで給湯を行っており、燃料費が高いことが課題となっていた。また、コロナ禍における宿泊者数減により売り上げが減少している一方、原油価格の高騰でさらに費用負担が増えていたことから、少しでも燃料費コストを抑え、環境対策も含めて温泉熱利用ができないかと考え始めた事業。
熱交換器を使って、余っている温泉から採熱し、給湯加温を実施。作ったお湯は、シャワーに利用している。

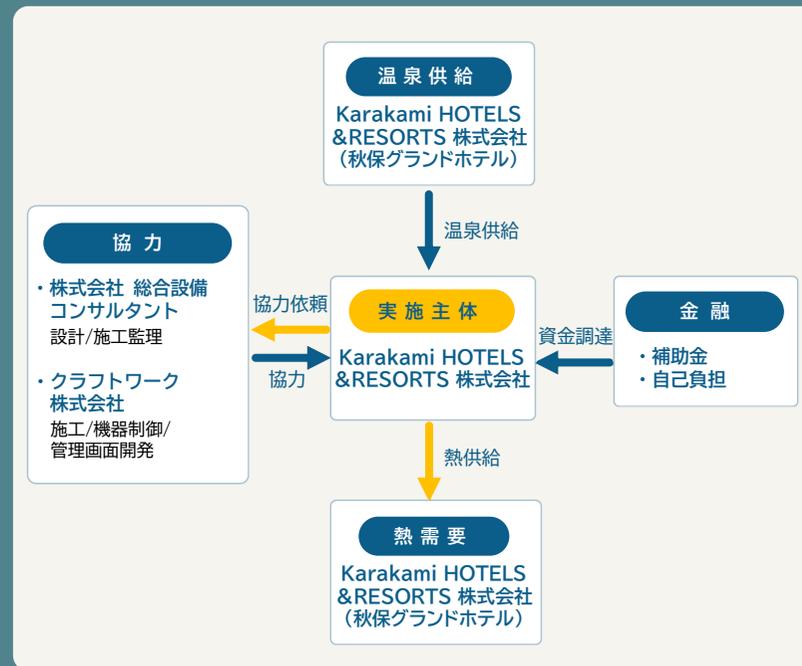


泉質	弱アルカリ塩類泉 / ナトリウム・カルシウム塩化物泉
熱利用温度	70℃
利用温泉	既存温泉
総事業費	4,000万円



※ 本事例は「令和6年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性がございます。
※ 1: CO₂排出量削減効果とエネルギーコスト削減効果は補助事業実績報告書に基づいた数値です。

実施体制



事業検討の流れ

